

経営上の問題点 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	原材料高 45.2%	売上の停滞・減少 41.9%	人手不足 35.5%
卸売業	売上の停滞・減少 45.5%	利幅の縮小 36.4%	人件費の増加 36.4%
小売業	売上の停滞・減少 56.1%	仕入先からの値上げ要請 36.6%	商圏人口の減少 26.8%
建設業	材料価格の上昇 60.0%	人手不足 57.1%	売上の停滞・減少 42.9%
サービス業	売上の停滞・減少 48.1%	材料価格の上昇 32.7%	人件費の増加 28.8%

経営施策 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	経費を節減する 51.6%	人材を確保する 41.9%	販路を広げる 35.5%
卸売業	情報力を強化する 72.7%	経費を節減する 68.2%	販路を広げる 63.6%
小売業	経費を節減する 58.5%	品揃えを改善する 39.0%	売れ筋商品を取扱う 29.3%
建設業	人材を確保する 57.1%	経費を節減する 45.7%	技術力を高める 42.9%
サービス業	経費を節減する 50.0%	販路を広げる 42.3%	人材を確保する 26.9%

【調査要領】

- 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
- 調査時点 2025年 3月
2025年 1月～ 3月期の実績および見込み
2025年 4月～ 6月期の見通し
- 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）
回答企業数 181社
回答率 100%
- 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
- 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合計
31	22	41	35	52	181

6. 分析方法

各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。